

日高軽種馬協会のたより

HBA

日高軽種馬農業協同組合

☎0146-22-2258 FAX 22-3452

令和4年9月10日

392

第 号

サマーセール 売上総額70億円を突破

8月22日（月）～26日（金）までの5日間、北海道市場サマーセールが開催され、売上総額は70億2,471万円（以下、全て税込）、平均価格は733万円、売却率は77.4%となり、売上総額と平均価格はサマーセール記録を更新する結果となった。（比較については次頁参照）最高落札価格馬は上場番号651番ファーゴ2021（静内・岡田スタッド）の4,180万円だった。

昨年は上場頭数1,336頭を数えたサマーセールだったが、今年はセクションセールの上場頭数が70頭ほど増加したこともあり1,237頭（99頭減）となった。カタログを見るとサマーセールらしいバラエティに富んだ種牡馬産駒はもちろん、兄姉に重賞勝ち馬やオープンクラスで活躍する馬が並ぶカタログを彩るブラックタイプが随所に見られた。セール出身馬の活躍も目を引き、今年はイグナイターがかきつばた記念（JpnⅢ）を制したほか、各地方競馬での重賞戦線で活躍を見せ続け、中央・地方問わずに2歳戦での活躍も目立っている。

そうした要因も追い風となってか、購買登録者数も増加し、購買申込締切日前時点で昨年の1,376名を超える登録があり最終的には1,523名と過去最高の購買登録者数を記録した。結果的にセール5日間を通して、すべての日程で売却率が70%を超えたうえ、平均価格も昨年全体を上回る700万円を超えた数字で堅調に推移した。5日

間を通して最高価格落札馬となったのは上場番号651番ファーゴ2021（静内・岡田スタッド）だった。父は初年度産駒が2歳を迎え芝・ダートの両方でメイクデビュー勝ち馬を出し好調さをアピールしているマインドユアビスケッツ、本馬の兄にシンザン記念を制したヴァルディゼールがいる血統。登場直後は各購買者が機会を伺うように慎重な雰囲気だったが、600万円の第一声がかかると一気にヒートアップ。息の入らない応札が繰り広げられ、最後は4,180万円で松本好雄氏によって落札となった。

高額2位となったのはミッキーアイルの産駒で上場番号371番ハイノリッジ2021（荻伏・鯉川啓一）。母の産駒がすべて中央で勝ち上がる堅実な成績なうえ、兄には今年のプリンシパルステー

【次頁へ続く】



最高価格落札馬 ファーゴ2021

祝日事務所営業のお知らせ

令和4年9月23日（祝・金）は通常営業日となります。

クスを制しダービーにも駒を進めたセイウンハーデスがいる旬なブラックタイプが多く、購買者の目を引いた。いきなり1,200万円の第一声がかかった後も躊躇なく繰り返される応札で最後は(株)カナヤマホールディングスによって4,070万円で落札となった。

高額3位となったのは上場番号635番のバンパークロップ2021(静内・(有)グランド牧場)。近親にはマーチステークスを制したマイネルクロップのいる血統で、JRAで3勝をあげた母の初仔だったが、初仔とは思えない雄大な馬体が多く、購買者の注目を集めた。第一声の500万円からすぐさま1,000万円の一声がかかるなど熱のある競り上げが繰り返され、永井商事(株)によって3,960万円でハンマーとなった。

牝馬で最も高額となったのは上場番号312番ショウナンアオバ2021(荻伏・(有)大北牧場)の2,915万円。兄のロードベイリーフが今年のアビスサマーダッシュで3着となるなど活躍しているが、その兄と同じく(有)ケイアイファームによって落札となった。

高額落札馬が多く現れた本年のサマーセールだったが、1,000万円以上で落札となった馬が196頭と昨年比で21頭の増となった。前述の通り、セレクションセールの上場頭数増、サマーセールでの上場頭数減という現状を振り返れば上々の結果となった。

種牡馬別に見てみると、上場頭数の多かった種牡馬は上位からベストウォーリア(40頭)、ア

ジアエクスプレス(36頭)、モーニン(36頭)とすべて優駿スタリオンステーションで繋養される種牡馬が並んだ。平均価格ではエピファネイアが2,365万円、レイデオロが2,200万円で2,000万円を超え、10頭以上上場された種牡馬ではシャンハイボビーが1,623万円、ヘニーヒューズが1,501万円、マインドユアビスケットが1,178万円と続いた。10頭以上上場された種牡馬の売却率ではシニスターミニスター(23頭)、エスポワールシチー(18頭)、シャンハイボビー(13頭)がいずれも100%を記録した。このほか、ホッコータルマエやパイロ、マジスティックウォリアーなどダート傾向のある種牡馬産駒が平均価格、売却率ともに高水準で取引されており、好調な馬券発売に後押しされ整備され続けている地方競馬の賞金額や、各地方競馬の補助馬購買、新設されるダート三冠路線なども追い風になった印象もあった。

古川組合長は「とにかく驚いています。色々な追い風があつてこのような成績になったと思いますし、頭数が少なくなったことでセール終了時間を短縮することができたのも良かったです。今回は自前で新たに村山職員を鑑定人としてデビューしましたが初めてにしては上手だったと思います。これからどんどん先輩に追いついてもらえればと期待しています。これからセプテンバーセール、オータムセールと続きますので活発なご購入をお願いします。」と振り返った。

【サマーセール(サラ1歳) 5年間の比較】

	令和4年		令和3年		令和2年		令和元年		平成30年	
平均価格	↗	7,332,682	↓	6,884,860	↗	6,935,600	↗	5,748,140	↓	4,960,376
中間価格	→	5,500,000	→	5,500,000	↗	5,500,000	↗	4,536,000	↓	4,320,000
出場頭数	↓	1,237	↗	1,336	↓	1,072	↓	1,197	↗	1,216
売却頭数	↓	958	↗	1,004	↓	825	↗	859	↓	850
売却率	↗	77.44%	↓	75.15%	↗	76.96%	↗	71.76%	↓	69.90%
売上総額	↗	7,024,710,000	↗	6,912,400,000	↗	5,721,870,000	↗	4,937,652,000	↓	4,216,320,000
購買登録者数	↗	1,523	↓	1,376	↗	1,454	↗	1,127	↗	1,076
購買実数	↗	563	↗	529	↗	420	↓	410	↗	443

※ 単位(円、頭、名)、価格は税込、矢印は前年対比

※ 令和2年の購買登録者数はセレクションセールとの合算

胃潰瘍のリスク要因について

門別診療所 富樫 雄三

夏が過ぎ、だんだん秋の気配を感じるようになってまいりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

胃潰瘍かもしれないから投薬しましょうかと獣医に勧められたことが馬に携わる方なら一度はあろうかと思えます。今回は、日常の馬管理にかかわる部分を中心に、いくつか知られている胃潰瘍のリスク要因を確認したいと思います。

・ストレスによる影響

離乳、輸送、せり上場、調教だけでなく放牧管理の変更(放牧地変更、単独で舎飼など)は馬にとってストレスを感じやすいイベントです。ストレスにより胃を保護する粘液などの分泌が減るため、胃が傷つきやすい状況になると言われています。

・解熱鎮痛剤による影響

馬でよく使用される解熱鎮痛剤(商品名:パナミン、ビュート)は胃を保護するとされるホルモンの分泌も抑えてしまうため、胃潰瘍のリスクを上げるといふ報告もあります。注射だけでなくペー
スト薬も同様に注意が必要です。

・濃厚飼料による影響

濃厚飼料に含まれる炭水化物が消化管内の細菌に分解されると酸に変わります。それが胃の中で起こると酸性が強くなるため胃が傷つく環境になりやすいです。

・粗飼料の採食時間の影響

本来の馬の食生活では1日16時間程度が採食に充てられています。胃の中に入ってくる植物(粗飼料)を消化するために、胃酸が絶えず分泌されているよう馬は進化してきました。粗飼料自体、またそれを咀嚼するときに出る唾液がアルカリ性であるので胃酸を中和して適切な状態が保たれます。しかし、人に飼養されていると採食時間が限られていることが多くなります。胃が空になった時間が長くと胃酸のため胃自体が傷つきやすい状況が長くなりがちです。

・馬の胃の約1/3は粘液による保護を受けていないこと

胃では食物中のタンパク質の分解が行われています。タンパク質は馬の体を構成する成分のひとつでもあるので、胃自身が傷つかないよう胃の出口側2/3は粘液などで保護されています。逆に、入り口側1/3は保護されておらず、この部分はもともと胃酸で傷つきやすい部分となっています。

リスク要因ひとつでは胃潰瘍を必ず引き起こすと言えるものではないですが、複数の要因が集まると(例:運動器疾患のため、鎮痛薬使用して単独で舎飼)胃潰瘍を発症しやすい状況になりがちです。飼養馬が複数のリスク要因を抱えていないか確認してリスク要因を減らす管理(例:牧草のないパドックには粗飼料を置いておく)をするのが胃潰瘍予防への近道です。

最後までお読みいただきありがとうございます

ジャックドール 札幌記念制覇

8月21日、札幌競馬場で伝統の札幌記念（G II）がおこなわれジャックドール（門別・クラウン日高牧場生産）が優勝した。本馬は2019年のセレクションセールで3,456万円取引され、昨秋から5連勝で金鯱賞（G II）を制し大阪杯でも2番人気の支持を得ていた。これで11戦7勝とし、重賞は2勝目となった。

今年の札幌記念は強豪馬の出走表明もあり早くから注目を集めていた。昨年の覇者であり、今年もヴィクトリアマイルを勝利するなどその人気に一層の拍車がかかっているソダシと、前走の函館記念で勝利し重賞ウイナーとしてここへ駒を進めた兄ハヤヤッコとの白毛対決はもちろん、二度の香港ヴァーズでの優勝があるグローリーヴェイズの参戦、逃げの戦法を武器に海外G I まで手が届いたパンサラッサの参戦など、出走馬16頭中11頭が重賞ウイナーという豪華な顔触れが揃った。

レースでは、直線をいっぱいに使った先行争いをパンサラッサが制し1コーナー手前でハナを切った。その1馬身後ろにユニコーンライオン、その内の三番手にウインマリリンが潜り込み、ジャックドールはその外へ付け、それを後ろからソダシが見る隊列で向正面を迎えた。パンサラッサが息の入らないラップを刻み続け縦長の隊列のまま4コーナー手前に差し掛かり、後続各馬の騎手が激しく手

を動かすなか、ジャックドール一頭だけが楽な手応えでパンサラッサを射程に捉え直線を迎える。ジャックドールがパンサラッサへ並びかけ、パンサラッサも二枚腰を使い後続を引き離しにかかるがジャックドールだけは突き放すことができず、直線は2頭のマッチレース状態。最後はしぶとくクビ差追い込んだジャックドールに軍配が上がった。3着争いも最後までつれ、粘るウインマリリンが強襲してきたアラタをこれもクビ差凌ぎ切り、3着を確保した。伝統の1戦で日高産馬が3着までを独占する結果となった。

レース後、ジャックドールとパンサラッサの2頭は天皇賞（秋）へ向かうことを表明。この2頭のほか、3歳馬からはジオグリフとイクイノックスなど春のクラシックを盛り上げた馬も参戦を予定しており激戦が予想される。大舞台で再び日高産馬が栄冠を勝ち取れるのか、楽しみは尽きない。



セレクションセール取引時のジャックドール

競馬トピックス

セレクションセール取引馬 フルデプスリーダー重賞制覇

8月7日、札幌競馬場でおこなわれたエルムステークス（GⅢ）でフルデプスリーダー（新冠・(有)村田牧場生産）が勝利した。本馬は2018年セレクションセールの取引馬で、重賞初挑戦ながら混戦を抜け出す力強い競馬を見せた。生産者の(有)村田牧場はモズベッコ、ディープボンド、ノースブリッジに続く4頭目のセレクションセール取引馬での重賞勝利となった。

.....

ウインカーネリアン 3連勝で重賞制覇

8月14日、新潟競馬場でおこなわれた関屋記念（GⅢ）でウインカーネリアン（新冠・(有)コスモビューファーム）が勝利した。本馬は2019年にデビューし、翌年には皐月賞と日本ダービーにも駒を進めた。昨年よりマイルへ路線変更すると素質が開花し、谷川岳ステークス、米子ステークスと2つのリステッド競走を連勝しこの一戦に臨んでいた。これが本馬の重賞初制覇となり、今後の更なる活躍も期待される。

.....

シャマル 交流重賞2勝目

8月25日、佐賀競馬場でおこなわれたサマーチャンピオン（JpnⅢ）でシャマル（静内・岡田スタッド）が勝利した。大外枠からのレースだったが終始楽な手応えのままレースを進め、先頭で直線を迎えると後続を突き放し、2着コウエイアンカに2馬身の差を付ける完勝だった。春の東京スプリントに続きこれで重賞2勝目となり、賞金を加算したことにより秋の大一番へ向けて視界が広がった。

.....

キタウイング 新潟で極上の切れ味を披露

8月28日、新潟競馬場でおこなわれた新潟2歳ステークス（GⅢ）でキタウイング（浦河・(有)ミルファーム）が勝利した。道中はほぼシンガリの位置取りから、開催が進み傷んだ内側を避けるように各馬が大外へ持ち出すなか、馬群の最内を上がり3F・33.0の末脚で一気に差し切ってみせた。ミルファームにとってはアイビスサマーダッシュのビリーバーに続きこの夏の新潟重賞2勝目となった。

.....

ボンボヤージ 大波乱演出

8月21日、小倉競馬場でおこなわれた北九州記念（GⅢ）でボンボヤージ（平取・(株)ASK STUD）が単勝オッズ164倍の低評価を嘲笑うかのような快勝を見せた。1枠1番からスタートし、道中は内で脚を溜めて直線は荒れた馬場を嫌い各馬が大外へ持ち出すなか迷わず内へ進路取り悠々と突き抜けた。オープン入りを果たした得意の小倉芝1200mで大波乱を演じた。

セプテンバーセール開催に伴うお知らせ

市場開催に伴い**9月20日(火)～22日(木)**は浦河本所・門別支所・ふるさと案内所を**閉所いたします**ので、ご了承願います。お急ぎの方は静内支所へ、また診療業務に関しては各地区の獣医師へご連絡をお願いいたします。

なお、セプテンバーセールの翌日**9月23日(祝・金)**につきましては、浦河本所・静内支所・門別支所を**臨時営業いたします**。

組合員のみなさまにはご不便をお掛けいたしますが、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

せり当日のスケジュール

4：30～	7：00	上場馬引付・スクーリング	
	～	7：00	受付(時間厳守)・個体確認・体調確認シート提出
8：30～		比較展示	
12：00～		せり開始	

※ せり当日の引付並びに受付については、**AM7：00まで(時間厳守)**に上場馬の引付・受付をお願いいたします。書類原本を事前にご提出いただいた場合であっても、当日の上場確認のため、必ず受付をお願いいたします。また、体調確認シートも併せてご提出をお願いいたします。

レポジトリー開設期間

【オンラインレポジトリー】

9月15日(木)15：00(予定)～各上場馬のせり終了まで

【北海道市場内】

せり当日 8：00～各上場馬のせり終了まで

販売希望価格・測尺報告書及び公表事項記入用紙の提出期間

【計測・提出期間】

9月2日(金)～9月9日(金) FAX提出：0146-45-2095

せり当日**AM7：00まで(時間厳守)**に受付・原本のご提出をお願いいたします。

入構スタッフ

入構する上場関係スタッフの人数は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上場に支障をきたさない最小限でお願いいたします。

入構章を発行いたしますので、「入構者報告書」に入構者のご登録をお願いいたします。
(9月9日(金)まで) ※ 上場に一切関係のない方の入構は出来ません。

スクーリング期間

【期日・時間】9月13日(火)～9月15日(木) 8：00～17：00

本セールのスクーリングは9/15(木)までとなっておりますのでご注意ください。

せり当日の朝(4：30～7：00)にも開放を予定しておりますが、大変混雑します。事前スクーリングへのご協力をよろしくお願いいたします。